

## SPへの接続確認

```
# systemctl restart shibd
# systemctl restart httpd
```

Shibbolethサービスの再起動時に下記のエラーが出力されます。

shibd を起動中: configuration is invalid, check console for specific problems  
[失敗]

2013-01-01 00:00:00 FATAL Shibboleth.Config : caught exception while loading configuration: XML error(s) during parsing, check log for specifics

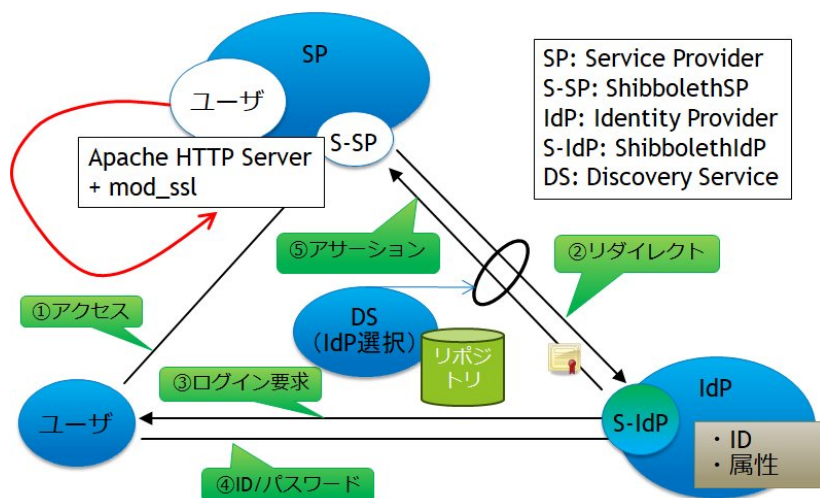
参考情報： SPセッティング - shibboleth2.xml ファイル (★)

また、再起動には成功していても、`/var/log/shibboleth/shibd warn.log`に下記のエラーが出力されることがあります。

```
2013-01-01 00:00:00 ERROR Shibboleth.SessionInitiator.Chaining : caught exception processing embedded SessionInitiator element:
Unknown plugin type.
```

→メタデータ自動更新のDSサーバの<SessionsInitiator>のtype設定が間違っている場合に出力されます。

サーバ上で以下のコマンドを実行して、設定したSPにアクセスします。  
これは、下図の矢印付き赤線でSPサーバのユーザからSPサーバ自らにアクセスしてみることを意味します。



※ホスト名は必ず localhost（もしくは127.0.0.1）として下さい。

またそのホスト名がサーバ証明書に記載されているホスト名と異なるため --no-check-certificate オプションを指定しています。

```
# wget --no-check-certificate -nv -O - https://localhost/Shibboleth.sso/Status
```

XML形式で各種ステータスが出力された後に、<Status><OK/></Status>という出力が含まれていればSPに接続が確認出来ました。

※URLのホスト名と証明書に記載されているホスト名が一致しない旨の警告が出ますが、無視して構いません。

何も出力されない場合は -nv オプションを外して再度実行し、エラーが表示されないか確認してください。

